

# 令和3年度 松林地区まちぢから協議会

## 第4回環境部会議事録

日時 令和4年1月13日(木) 18:30~19:30

場所 松林公民館 第2会議室

出席者(菱沼自治会):池西、高木 (室田自治会):内田、笹野 (高田自治会):瀬川  
(上赤自治会):甘糟 (下赤羽根自治会):三橋 (ニュータウン自治会):及川

配布資料

- ① 第4回環境部会次第 ② 第3回環境部会議事録 ③ 紙リサイクル資料
- ④ 滋賀県ごみ減量・資源化アイデア集

議事内容

### (1) 紙ごみのさらなる再資源化

#### ① 紙ごみの出し方をどうしているか

- ・新聞、段ボール、雑誌等はリサイクルに出しているが、雑紙などは半分くらい燃えるごみに混ぜて出している。
- ・紙ごみの分別で市からは6種類 新聞、段ボール、本・雑誌、雑紙、シュレッダーで裁断した紙、飲料用紙パックに分けて出すように言っているが、ごみの収集所で気になるのが種類別にまとめた場所に出して無く収集のしにくいと思う。さらに気になるのが雑紙の量が少ない。ごみの分別が充分でなく雑紙と紙パックを混ぜて出しているのを見かける。台所等できちんと分別して出す努力をしないと減量にならない。一般ごみに紙、プラスチックを混ぜて出している人が多い。分別のごみ箱を用意すると改善される。リサイクルできない紙ごみは燃えるごみに出す。  
カレンダー等の写真印刷されたものはどうなのか?特別なフィルム等のコーティングがかかっていない物は雑紙で大丈夫。紙の表示があってもラミネートとかアルミのコーティングのかかったものは燃えるごみになるが、最新の紙パックはリサイクルできるものになっている。  
雨の日に出すのはダメと聞いたが。ダメではないが長時間置いておくと水を吸って収集作業が大変なので、収集直前に出すか、日を変えて出すのが最善である。

### (2) ごみの減量化について

- ・ごみ収集の有料化で、ごみの容積を小さくするとかがみが出ないような工夫をする生活をしていく必要がある。資料に滋賀県のごみ減量・資源化アイデア集を紹介します。  
食品などは使う分だけを買って余りがでないようにして廃棄ごみを減らす。  
生ごみの減量で水切り、天日干し。一般ごみに紙等のリサイクルごみを混ぜないで分別する。  
減量ではないが、ごみを圧縮して容積を減らす。食品の包装に使っている、プラスチックトレイを燃えるごみに混ぜないで分別する。食材を使い切る。(キャベツの外の1枚を捨てない)  
コンポストの市の補助について、4年度になって早く行けば出るが個人の申請のみ。生ごみを減らせば大部効果が出る。

ごみ減量化の基本方針の資料で、ごみ袋の負担額が1人当たり年間1,471円になっているがもっと掛かるのでは?

月60リットルで4人家族で240リットル、一般、不燃の収集が月10回で、1回あたり24リットルの計算になり減量の努力をしないと試算金額をオーバーしそうである。今後、少しずつノウハウを蓄積してごみの減量のアイデアをまとめるとよい。

池西さんのコンポストの実施状況は?

1ヶ月くらい休止状態になっている。一度リセットして貯まったものをふるいにかけて堆肥にするものと残りの物を分けて再スタートしようとしている。

内田:最近の状況で玉ねぎの皮が形が残っていたのがやっと分解して形が無くなった。ただ段ボールが駄目になってきているので新しい箱でまた始めたい。

基材等の費用が結構掛かるが、なくても促進剤を使用すれば大丈夫のように思う。骨とか、みかんの皮

、乾いた玉ねぎの皮が一部分解できていない物もあるが、ほとんどは分解している。

ごみの減量については、有料化に向けて勉強しながらノウハウを持ち寄って共有したい。

(3) その他

ごみ有料化のポスターについて今日配布された。掲示方法について、ネットと壁面等の設置を検討している。ごみ収集場所の数だけ配布されている。

1. 今後のスケジュール

- ・松林地区まちぢから協議会 令和3回環境部会  
日時：令和4年1月13日（木）18：00 から  
場所：松林公民館第2会議室

環境部会ホームページ QR コード



以上